

令和 5 年 6 月 23 日現在

機関番号：12201

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2022

課題番号：16K04664

研究課題名(和文) 家庭科における包括的性教育の現状と課題に関する研究

研究課題名(英文) Current Status and Issues of Comprehensive Sexuality Education in Home Economics Education

研究代表者

良 香織 (USHITORA, Kaori)

宇都宮大学・共同教育学部・准教授

研究者番号：10459224

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の目的は、人権を基軸とした家庭科教育に進展するための具体的課題は何かを明らかにすることである。そこで東アジアという枠組みで、社会的・文化的特徴を押さえながら、包括的性教育を分析軸とした質的調査を行った。台湾と韓国の教材等の収集、翻訳をふまえ、各国の教員や民間団体職員への聞き書き調査、日本において、包括的性教育を行うにあたって隣接した教科の現状把握を行った。課題と展望をより明確にするために、国際的な複数の性教育のガイドラインを翻訳、分析した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

Although we were forced to change some of our survey methods due to the spread of the new coronavirus infection, we were able to return the results to the public through specialized journals and training programs for teachers.

研究成果の概要(英文)：The purpose of this study was to clarify what specific issues need to be addressed in order to develop human rights-based home economics education. Therefore, within the framework of East Asia, a qualitative survey was conducted with an analytical focus on comprehensive sexuality education, while keeping in mind the social and cultural characteristics of the region. Based on the collection and translation of teaching materials from Taiwan and Korea, we interviewed teachers and staff of private organizations in each country, and identified the current state of adjacent subjects in comprehensive sexuality education in Japan. To further clarify the challenges and prospects, we translated and analyzed several international sexuality education guidelines.

研究分野：保健学

キーワード：性教育

1. 研究開始当初の背景

(1)日本のジェンダー平等の現状と家庭科教育におけるジェンダー視点の重要性

子どもたちに、「男女のステレオタイプ」の解消に裏付けられた多様な生き方の学びをどう保障していくかは、教育が中心的に担うべき非常に重要な課題である。これについては日本が批准している女性差別撤廃条約における締約国の義務の中にも「広範にみられるジェンダー的関係性と根強いジェンダーに基づくステレオタイプに対処すること」として明記されている。

また、女性差別撤廃委員会の総括所見(2009年第6回総括所見)では、固定的なステレオタイプが特に教科書や教材にも反映されていることの懸念と、あらゆる教科書および教材の見直しを速やかに行うよう勧告されている。国内では第3次男女共同参画基本計画の具体的施策において「男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実」とあり、「人権尊重を基盤に」とある。さらに、その実現に資する教科として家庭科があげられている。加えて、ここでいうジェンダーの視点とは、ジェンダー平等の実現を、単に「女性差別解消の問題」のみとしてとらえるのではなく、男性の生き方の問い直しと、両性の関係性、さらにはセクシュアル・マイノリティの人権などを含む「性の多様性」を視野に入れた視点として展開するものである。

(2)なぜ家庭科教育に着目するのか

家庭科は、衣食住、消費生活や環境といった<空間軸>と、家族を含む身近な他者との関わりながらどのように成長するか、社会制度とも合わせた<時間軸>の大きく2つの学びを通して、子どもたち自らが社会的な存在としてどう生きるかを考える重要な教科である。家庭科はあらゆる多様性を前提としたジェンダーの視点で生き方を捉えなおす唯一の教科であると言ってもよい。

しかしながら家庭科教育が、多様な生き方を学ぶ教科として位置づいているとは言い難い。未だに家庭科に関するイメージは調理や被服といった実習教科、もしくは「息抜き」の教科で、女性教員が担当するという印象が強いことが指摘されている。こうした教科に対するイメージは、家庭科の成立過程やこれまでの歴史にも影響されていると言える。家庭科は長年にわたって、男女特性論に基づく教科として位置づいてきた。その象徴的なものが1960年から約30年にわたって継続されてきた、高校における男女「特性論」に基づく女子のみ必修の家庭科であろう。1989年の学習指導要領改訂になってようやく家庭科は共学化した。未だ家庭科教育の内実において、その内容や方向性について、分離主義的な面があることは否めない。

また、女性差別撤廃条約批准のために実現した家庭科の共修が、ジェンダー平等の実現にどのように寄与できているのかと検証は、家庭科が子どもや若者の自立を支える教科となるための具体的課題を明らかにするためには不可欠であるにもかかわらず、教員の質的調査や教材の詳細な分析・比較などによってそれを実証的に明らかにしようとする研究は皆無に等しい。

2. 研究の目的

家庭科教育の実態をジェンダーの視点から分析し、家庭科が、多様な生き方の学びを視野に入れた、子どもや若者の自立を支える教科となるための具体的課題を明らかにすること、さらに教科としてどのような形で発展しうるかその展望を明らかにすることが本研究の目的である。

本研究の特色・独創的な点の第1は、ジェンダーの視点を、男性の生き方の問い直しと、両性の関係性、さらにはセクシュアル・マイノリティの人権などを含む「性の多様性」を視野に入れたものとして展開する点にある。第2に、家庭科の教科としての特殊性を前提に、「多様な生き方の学び」が保障されているか否かという点に着目することで、家庭科教育の課題を明らかにしようとする点にある。第3の特色は、教員や家庭科教育を受けてきた学生への聞き書き調査、実際の授業内容等から多面的にその実態を明らかにしようとする点にある。さらに、その課題を相対化するために、これまでの申請者の研究成果を土台に、韓国、台湾の状況と比較することが第4の特色となる。

3. 研究の方法

(1)研究遂行上の工夫

本研究では、家庭科教育において多様性の学びがどのように位置づけられているか、課題と展望を教員の聞き書き調査や具体的な授業内容から構造的に捉え、相対化することに主眼を置いている。研究を遂行するにあたり、具体的に行った工夫は以下の通りである。

- ・女性アーカイブセンターおよび家庭科教育および性教育関連の民間団体、研究会等から、必要な文献情報を収集することが可能(既に許可を得ており、必要な資料の所在も把握している)。
- ・申請者が所属する家庭科教育関連の教員及び大学院生、研究員等の支援を受けることができる。
- ・現職の家庭科教員、関連分野の研究者の幅広い協力を確実に得ることが出来る。

(2)授業実践の質的調査について(資料分析、教員を対象とした質的調査):

研究代表者は家庭科の男女共修の実現に大きく貢献した和田典子氏の所蔵資料から資料目録を作成しており(研究業績15)、その編集委員会で関連のある教員が多く加入している女性団体等や民間団体、国立女性教育会館(女性アーカイブセンター)の協力を得ることが可能である。家庭科において多様な生き方に関する学びがどの程度保障されてきたか/きていないか、その特徴を歴史的な視点から解明することができると確信している。また、家庭科のどの分野においてジ

エンダーに関する授業実践が展開されているか、そこに教員の価値観がどのように反映されているかについて、高校生および教員を対象とした質的調査を実施してきた(研究業績 10)。これらの研究を踏まえ、現職の家庭科教員が家庭科がジェンダーの視点に基づく多様性を含む教科であることをどれだけ意識しているのか、そこに教員の性に関する価値観がどの程度、影響しているのか/いないのかに関する教員の質的調査を継続して行う。そこでは教員がどのような教材を使用しているか、教科書では体現できない部分は何かについて確認したい。これまで継続して質的調査に関わってきた教員とのネットワークを利用し、本研究の目的に迫りたい。

(3)教員養成課程の学生の質的調査：

研究代表者は大学教員および高校教員の家庭科教育に関する研究会に所属しており、家庭科教育の課題をジェンダーの視点から分析した研究を継続的に行ってきた(研究業績 13)。また、大学生における多様なライフスタイルに関する量的調査を具体的に進めている。そこでの成果を本研究の質的調査に活かせるものと確信している。

(4)韓国、台湾の家庭科の教材分析：

研究代表者はこれまでアジアにおける性教育の動向を把握するために海外調査を実施してきた(研究業績：学会報告等 5-7)。中でも韓国の家庭科教材(教科書および副教材)は収集、翻訳を継続しておこなっている。また台湾はジェンダーに関するカリキュラムが充実しており、日本の家庭科教育における多様性の学びの特徴をより明確化できる。

(5)年度別の研究計画(詳細)

【平成 28 年度(1 年目)】

- ・国立女性教育会館女性アーカイブセンターの所蔵資料から、家庭科教育における多様な生き方に関する資料を収集する。これは資料分析の基礎資料として位置づく。
- ・申請者が実施してきた調査結果をふまえ、家庭科教員を対象とした聞き書き調査を実施する。
- ・韓国の教材収集(本年度は教科書の収集のみ)および翻訳作業を行う。

ポイント

- ・民間団体等の協力を得ることが可能であり、より実証的に家庭科における多様な生き方に関する学びについて、その理論と実態と歴史的な視点から解明する。
- ・教員調査の質問項目としては教育課程における位置づけ、方法、教材、他教科との連携、研究会等への参加状況等である。また随時、関連分野の授業の参与観察を行う。
- ・研究代表者は平成 16 年より、家庭科教育研究者及び家庭科教員(中学校・高等学校)らとともに、家庭科における授業実践研究を継続して行ってきた。また、性教育に関連した民間団体との研究会も継続してきており、そのネットワークを活かし幅広く教員に協力を仰ぐ。
- ・韓国の教科書は中学校、高校の一部はすでに収集、分析しているので、小学校と収集できていないもの、その後の改訂版の収集に絞って行う。

調査方法

- ・聞き書き調査は、半構造化面接法(質問項目を設定するが、対象者とのやりとりにより、項目内容を広げることもあり得る面接法)とし、1 名毎に調査を実施する。その際に、教材を含む授業実践の内容についても聞くこととする。
- ・調査内容は、IC レコーダーにより録音する(調査対象者の許可が得られた場合に限る)。後日、テープおこし業者に委託し、スクリプト(具体的な調査記録)を作成する。
- ・教科書センターおよび教科書販売書店にて収集する。

【平成 29 年度(2 年目) - 平成 30 年度(3 年目)】

- ・昨年度に引き続き、教員への聞き書き調査を行う。
- ・教員養成課程の大学生を対象とした聞き書き調査を実施する。
- ・2 年目においては、初年度の研究結果を踏まえ、平成 29 年度は韓国(本年度は資料集や民間団体の教材収集に絞って)、平成 30 年度は台湾の教材を収集する。
- ・まとめと成果発表

ポイント(前年度と継続するポイントについては、平成 28 年度と同様)

- ・教員養成過程の学生を対象とした調査で教員養成課程学生が考える多様性とはどのような内容かを浮き彫りにする。

調査方法(前年度と継続する調査方法については、平成 28 年度と同様)

- ・学生調査については、公立、私立大学の教員養成過程(家政教育)の学生に授業時に a 多様な生き方に関する項目をどのように捉えているか、b 自分の価値をどのように授業に展開させようとしているかについて、集団面接方式による聞き書き調査を実施する。また、b については模擬授業のふりかえりとも合わせて行う。
- ・前年度までの成果を踏まえ、各課題で残された作業の遂行、学会発表と学会誌への投稿。3 か

年の総括、研究調査報告集を作成する。

- ・台湾の関連教材を収集する。
- ・授業実践を、継続して記録する（調査対象者の許可が得られた場合に限る）。後日、記録内容のスクリーンショットを作成し、分析の対象とする。
- ・最終的には、これら調査結果を踏まえ、家庭科教育で多様な生き方に関する学びがどのように位置づけられているか/いないか、教育実践の実態を明らかにし、その課題と展望について分析・考察し、総括的な報告書を作成する。

4. 研究成果

【平成 28 年度（1 年目）】

- ・国立女性教育会館女性アーカイブセンターの所蔵資料から、家庭科教育における多様な生き方に関する資料を収集した。
- ・台湾と韓国の教材等を収集し、翻訳作業中である。台湾における人権教育、包括的性教育（日本の家庭科等で取り扱うことが可能な内容を含む）の現状を明らかにするために、台湾の民間団体と研究者との研究交流を行った。これまでの調査の一部（主に実践に関する部分）は第 6 回アジア性教育学会（台湾）にて報告した。
- また、2000 年以降の性教育の現状と課題について Gender and Education Association Conference のプレワークショップ（スウェーデン）にて報告した。戦後の教科書分析の一部を聞き書き調査と対応させたものを Sex education へ投稿、受理された。なお、本科研の 2-3 年目に教科書の課題と展望を具体化する際に、2009 年ユネスコが公表した国際セクシュアリティ教育ガイダンスを使用する予定であることから、同文書の翻訳をし、出版した。同ガイダンスはユネスコが各国の専門家/団体と共同で作成し、論理的根拠に基づいて作成されており、アジアにおいても、教材作成等の参考にされていることから、今後、台湾と韓国の分析を進める上でも多くの知見を得ることができた。また本書に編纂されている包括的性教育の内容は、教育関係者への講話（行政や民間団体主催の教員対象の人権教育講座等）において紹介し、今後の分析視角を明確にすることができた。
- ・家庭科教員を対象とした聞き書き調査を実施した。

【平成 29 年度（2 年目） - 平成 30 年度（3 年目）】

- ・昨年度に引き続き、教員への聞き書き調査を実施した。対象者の世代の教育制度の確認と、当時の教材、また社会状況と教育内容とのずれを明確にするために、基礎データを収集することとした。
- ・初年度の研究成果を踏まえ、平成 29 年度は韓国（本年度は資料集や民間団体の教材収集に絞って）、平成 30 年度は台湾の教材を収集した。対象者の世代の教科書ならびに指導書等の記述内容を世代別に分析途中である。
- ・翻訳作業をした資料の一部を書籍等で広く紹介した。本科研の教科書の課題と展望を具体化する際に、本書に編纂されている包括的性教育の内容は、教育関係者への講話（行政や民間団体主催の教員対象の人権教育講座等）において紹介するとともに、今後の分析視角を具体化するにあたっても活用している。さらに 2018 年 1 月に 2 版が出されたことから翻訳中で年度内の出版をめざしている。
- ・ガイダンスは初版から内容がどのように更新されたかを分析し、現段階の特徴ならびに国内の現状と課題について、日本思春期学会ならびに日本教育学会、日本人権教育学会や民間団体の研修等で一部を報告した。さらに論文「人権教育としての性教育を実践して」（同時代史研究, The Japanese journal of contemporary history (11), 51-61, 2018）書籍『性教育はどうして必要なんだろう？：包括的性教育をすすめるための 50 の Q&A』等で広く発信した。
- ・また家庭科に関わるテーマについて、国際法（日本が批准している人権法）と国内法における教育啓発の記述と勧告を確認することで、日本の現状と課題をより具体化することができた。
- ・途中から新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、研究計画を大きく見直すこととなった。そこで現代の家庭科教育の課題を明らかにするための一次資料として、海外の性教育ならびに人権教育に関する文書を収集、翻訳を行った。また、包括的性教育の重要性を提起するために、教育、保育における教材を作成し、教員や保育者対象の研修等で紹介した。
- ・継続して、包括的性教育の重要性を提起するために教育、保育における教材を作成し、教員や保育者対象の研修等で紹介し、内容を更新した。
- ・すでに学校教育における国際的な基準については整理しているが、新たに出された海外の社会教育における性教育ガイダンスを収集、翻訳を行っている。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって中断をしていた聞き書き調査の再開ならびに、初年度～2 年目に実施から時間が経過したことから、補足調査を現在も継続中である。
- ・家庭科の性教育の特徴を明らかにするために、隣接領域である社会科における性教育の位置づけを専門家と議論し、一部を雑誌に紹介した。その他の未投稿のデータについては、学術誌等への投稿に向けて分析作業中である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計33件（うち査読付論文 3件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 良香織	4. 巻 71
2. 論文標題 なぜ乳幼児期に性教育が必要なのか	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 保育の友	6. 最初と最後の頁 18 - 21
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良香織, 及川 英二郎	4. 巻 109
2. 論文標題 社会科領域でできる性教育	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Sexuality	6. 最初と最後の頁 13-17
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 國分 麻里, 鶴田 敦子, 良香織, 及川 英二郎	4. 巻 109
2. 論文標題 対話から見えてくる性教育の可能性 : 社会科と家庭科	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Sexuality	6. 最初と最後の頁 18-29
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良香織	4. 巻 104
2. 論文標題 学び直そう! 月経 : ジェンダー平等の課題として	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Sexuality	6. 最初と最後の頁 36-45
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良香織	4. 巻 8 / 8
2. 論文標題 「性的同意」の学びを保障するに あたっておさえておきたいこと	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 高校保健ニュース	6. 最初と最後の頁 1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良香織	4. 巻 760
2. 論文標題 性的同意のために重要な “ 対話 ”	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 高校保健ニュースポスター	6. 最初と最後の頁 1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良 香織, 櫻井 裕子, 谷口 歩美, 篠原 美香	4. 巻 104
2. 論文標題 座談会 学び直そう! 月経 : ジェンダー平等の課題として (特集 「生理の貧困」から「生理の尊厳」へ)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Sexuality	6. 最初と最後の頁 36-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良 香織	4. 巻 28
2. 論文標題 国際セクシュアリティ教育ガイダンスとは何か (特集 生きるための性教育 : "後進国"日本のこれから)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 K-peace	6. 最初と最後の頁 6-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良 香織	4. 巻 8
2. 論文標題 あかちゃんからの性&生教育はじめよう	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 月刊クーヨン	6. 最初と最後の頁 32-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良 香織	4. 巻 102
2. 論文標題 暴力と安全確保、そして人権 (特集 「暴力と安全確保」を学ぶ)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sexuality	6. 最初と最後の頁 14-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 申 俊植, 及川 英二郎, 良 香織	4. 巻 102
2. 論文標題 インタビュー 朝鮮学校の現状と課題 : 校長先生にきく (特集 「暴力と安全確保」を学ぶ)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sexuality	6. 最初と最後の頁 102-111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良 香織	4. 巻 100
2. 論文標題 性教育と「いのち」をめぐる教育 : いのちの在りかとしてのからだ (特集 人権を基盤とした包括的性教育を! : 創刊100号をあらたなスタート地点として)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sexuality	6. 最初と最後の頁 88-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良香織	4. 巻 703
2. 論文標題 幼児期の性教育で大切にしたいこと,	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ちいさいなかま,全国保育団体連合会	6. 最初と最後の頁 34-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良香織	4. 巻 356
2. 論文標題 さまざまな家族と暮らしを考える	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 家庭科研究	6. 最初と最後の頁 4-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小原 一馬,丸山 剛史,出口 明子,岡澤 慎一,良 香織,三石 初雄	4. 巻 7
2. 論文標題 教員養成カリキュラムによる学びの実感と学び方の変遷 宇都宮大学教育学部卒業生調査から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 宇都宮大学教育学部教育実践紀要	6. 最初と最後の頁 77-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良香織	4. 巻 2020
2. 論文標題 性教育の現状と課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 女性白書2020	6. 最初と最後の頁 0-312
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良 香織	4. 巻 772
2. 論文標題 人権教育としての性教育を実践して	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 部落解放	6. 最初と最後の頁 41 - 49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良 香織	4. 巻 103
2. 論文標題 子どものセクシュアルヘルス・性教育と「子どもの権利条約」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 旬報社	6. 最初と最後の頁 84 - 91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良 香織	4. 巻 19
2. 論文標題 教育行政と教育現場との問題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 人権教育研究	6. 最初と最後の頁 3 - 6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良 香織、橋本紀子他2名	4. 巻 94
2. 論文標題 性教育と法の間を問う意義と日本の課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 SEXUALITY	6. 最初と最後の頁 26 - 41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良 香織	4. 巻 94
2. 論文標題 実践の方向性を確認するにあたって知っておきたい法	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 SEXUALITY	6. 最初と最後の頁 6 - 13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良香織	4. 巻 11
2. 論文標題 人権教育としての性教育に関する一考察	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 同時代史研究	6. 最初と最後の頁 51-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良香織	4. 巻 89
2. 論文標題 東京都「性教育の手引」改訂作業への提言作成にあたって	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 SEXUALITY	6. 最初と最後の頁 30-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良香織	4. 巻 772
2. 論文標題 人権教育としての性教育を実践して	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 部落解放	6. 最初と最後の頁 41-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 富田道子、良香織他	4. 巻 25
2. 論文標題 共生・多様性の視点に立った家庭科における減災教育プログラムの開発	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 まちと暮らし研究	6. 最初と最後の頁 85-98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良香織	4. 巻 136
2. 論文標題 人権教育としての性教育(特集 人権につながる様々な教育の取り組み)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 国際人権ひろば	6. 最初と最後の頁 5 - 6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良香織他	4. 巻 82
2. 論文標題 「ガイダンス」を活用した人権教育としての性の学びへ (特集 「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」を活かす)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sexuality	6. 最初と最後の頁 6 - 15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良香織他	4. 巻 82
2. 論文標題 座談会 「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」を活かすために (特集 「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」を活かす)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sexuality	6. 最初と最後の頁 16 - 29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良香織他	4. 巻 3
2. 論文標題 教員養成課程における「生活科教育法」の授業改善に 関する基礎的検討 受講生を対象とした質問紙調査を通して	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 宇都宮大学教育学部教育実践紀要	6. 最初と最後の頁 425-428
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良香織他	4. 巻 83
2. 論文標題 座談会 幼児期の性教育を保障するために：子どもに寄り添うおとなの子ども観と性の学び (特集 子どもに関わるすべてのおとなに必要な性の理解と取り組み)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sexuality	6. 最初と最後の頁 6 - 23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kaori USHITORA et al	4. 巻 17
2. 論文標題 School education and development of gender perspectives and sexuality in Japan	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sex Education Sexuality, Society and Learning	6. 最初と最後の頁 386-398
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 良香織他	4. 巻 76
2. 論文標題 子どもを見つめる 「家族」を学ぶ	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 季刊Sexuality	6. 最初と最後の頁 6-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福田弘、良香織	4. 巻 77
2. 論文標題 性教育も人権教育の基盤の上で	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 季刊Sexuality	6. 最初と最後の頁 79-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計6件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 3件)

1. 発表者名 良香織
2. 発表標題 性教育、何をどこまで教えるべきか？
3. 学会等名 日本人権教育研究学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 良香織
2. 発表標題 人権教育としての性教育
3. 学会等名 日本思春期学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 良香織
2. 発表標題 人権教育としての性教育に関する一考察
3. 学会等名 日本教育学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kaori USHITORA, et al
2. 発表標題 An Examination of Educational Practices to Promote Coexistence and Understanding of Human Diversity: From the Perspective of Universal Design
3. 学会等名 The 19th Biennial International ARAHE Congress 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kaori USHITORA
2. 発表標題 What was the Anti-Sexuality Education Movement?
3. 学会等名 Gender and Education Association Conference (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kaori USHITORA
2. 発表標題 A Practical Study on Comprehensive Sexuality Education emphasis on Students Activity.
3. 学会等名 Asian Congress of Sexuality Educaton (国際学会)
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計26件

1. 著者名 良 香織、柿崎 えま	4. 発行年 2022年
2. 出版社 大月書店	5. 総ページ数 48
3. 書名 考えよう！ 人間の一生と性（人間と性の絵本）	

1. 著者名 マティルド・ボディ、ティフェース・ディユームガール、良香織、河野彩	4. 発行年 2022年
2. 出版社 パイ インターナショナル	5. 総ページ数 56
3. 書名 女の子のからだえほん	

1. 著者名 浅井春夫、良香織	4. 発行年 2022年
2. 出版社 子どもの未来社	5. 総ページ数 192
3. 書名 からだの権利教育入門 幼児・学童編	

1. 著者名 良 香織、柿崎 えま	4. 発行年 2022年
2. 出版社 大月書店	5. 総ページ数 48
3. 書名 性は人権なの？（人間と性の絵本）	

1. 著者名 染矢明日香、良香織	4. 発行年 2022年
2. 出版社 合同出版	5. 総ページ数 95
3. 書名 はじめてまなぶ ころこ・からだ・性のだいじ ここからかるた	

1. 著者名 染矢明日香、良香織	4. 発行年 2022年
2. 出版社 合同出版	5. 総ページ数 95
3. 書名 はじめてまなぶ ころこ・からだ・性のだいじ ここからかるた	

1. 著者名 浅井 春夫, 安達優雅子, 良 香織, 北山 ひと美他	4. 発行年 2021年
2. 出版社 かもがわ出版	5. 総ページ数 127
3. 書名 乳幼児期の性教育ハンドブック	

1. 著者名 浅井 春夫, 良 香織, 酒本 知美	4. 発行年 2021年
2. 出版社 不二出版	5. 総ページ数 299
3. 書名 愛児の家史料 第1期,4巻・解説,	

1. 著者名 浅井 春夫, 良 香織, 酒本 知美	4. 発行年 2021年
2. 出版社 不二出版	5. 総ページ数 614
3. 書名 愛児の家史料 第1期5巻・解説	

1. 著者名 レイチェル グリーナー、クレア オーウェン、良 香織、浦野 匡子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 大月書店	5. 総ページ数 32
3. 書名 ようこそ！あかちゃん	

1. 著者名 ロビー・H.ハリス、マイケル・エンバーリー、上田 勢子、浅井 春夫、良 香織	4. 発行年 2021年
2. 出版社 子どもの未来社	5. 総ページ数 84
3. 書名 8歳からの性教育の絵本 とってもわくわく！するはなし	

1. 著者名 良香織, 柿崎えま (絵)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 大月書店	5. 総ページ数 47
3. 書名 人間の性と生の絵本5巻 考えよう!人間の一生と性	

1. 著者名 良香織, 柿崎えま (絵)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 大月書店	5. 総ページ数 47
3. 書名 人間の性と生の絵本4巻 考えよう!人間の一生と性	

1. 著者名 良香織, 生活の学びの研究会	4. 発行年 2021年
2. 出版社 開隆堂出版	5. 総ページ数 143
3. 書名 授業実践・授業プランの考え方, テーマ19日本の性に関わるこれまでとこれから; 生活の学びの研究会編著, 生活からはじめる教育-コロナ禍が教えてくれたこと	

1. 著者名 浅井春夫, 良香織	4. 発行年 2020年
2. 出版社 朝日新聞出版	5. 総ページ数 160
3. 書名 親子で話そう! 性教育 : 子どもを性被害から守るために大切なこと	

1. 著者名 上田勢子, 浅井春夫, 良香織, ロビー・H. ハリス	4. 発行年 2020年
2. 出版社 子どもの未来社	5. 総ページ数 60
3. 書名 コウノトリがはこんだんじゃないよ! : 4歳からの性教育の絵本	

1. 著者名 ユネスコ編, 浅井春夫, 良香織, 田代美江子, 福田和子, 渡辺大輔訳	4. 発行年 2020年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 292
3. 書名 国際セクシュアリティ教育ガイダンス : 科学的根拠に基づいたアプローチ	

1. 著者名 浦野匡子, 良香織訳・解説	4. 発行年 2020年
2. 出版社 大月書店	5. 総ページ数 32
3. 書名 ようこそ!あかちゃん : せかいじゅうの家族のはじまりのおはなし	

1. 著者名 浅井 春夫、所 貞之	4. 発行年 2019年
2. 出版社 建帛社	5. 総ページ数 192
3. 書名 子ども家庭支援論 : 第4章ジェンダーの視点で家族をとらえる	

1. 著者名 山田 勝美、良 香織	4. 発行年 2019年
2. 出版社 建帛社	5. 総ページ数 208
3. 書名 新版 子ども家庭福祉	

1. 著者名 良 香織	4. 発行年 2019年
2. 出版社 教育開発研究所	5. 総ページ数 268
3. 書名 教育の最新事情がよくわかる本2020	

1. 著者名 良香織他	4. 発行年 2018年
2. 出版社 大学図書出版	5. 総ページ数 196
3. 書名 保育者養成のための子ども家庭福祉	

1. 著者名 良香織他	4. 発行年 2018年
2. 出版社 大月書店	5. 総ページ数 176
3. 書名 性教育はどうして必要なんだろう? : 包括的性教育をすすめるための50のQ&A	

1. 著者名 浅井春夫、良香織他	4. 発行年 2017年
2. 出版社 明石書店,	5. 総ページ数 213
3. 書名 国際セクシュアリティ教育ガイダンス : 教育・福祉・医療・保健現場で活かすために	

1. 著者名 橋本紀子、良香織他	4. 発行年 2018年
2. 出版社 かもがわ出版	5. 総ページ数 183
3. 書名 教科書にみる世界の性教育	

1. 著者名 良香織他	4. 発行年 2017年
2. 出版社 大月書店	5. 総ページ数 200
3. 書名 ハタチまでに知っておきたい性のこと 第2版(3, 10, 14章担当)	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>たまごクラブひよこクラブ(ユネスコのガイダンスの紹介), ベネッセコーポレーション https://st.benesse.ne.jp/ikujii/content/?id=97806 情報・知識&オピニオンimidas, 新・時事用語:SOGI(ソジ), 関係性について2回分 https://imidas.jp/newjijiword/?article_id=1-91-016-20-12-g791 命育; 医師・専門家×ママクリエイターによる家庭でできる性教育サイト, 質問への回答や情報提供 https://meiiku.com/</p>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	及川 英二郎 (oikawa eijirou) (80334457)	東京学芸大学・教育学部・教授 (12604)	
研究分担者	富田 道子 (tomita michiko) (10738785)	広島都市学園大学・子ども教育学部・教授(移行) (35416)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------